

やはば 議会だよ

222

2022.10.21

岩手県
矢巾町議会

矢巾町ロードレース大会



矢巾町ロードレース大会
(関連記事…P28)

令和3年度決算審査

ワクチン接種・検査キットを充実…………… 2

予算決算常任委員会

決算を徹底検証…………… 6

町政を問う 一般質問11議員

積極的歳入の確保を…………… 14

検査キットを充実

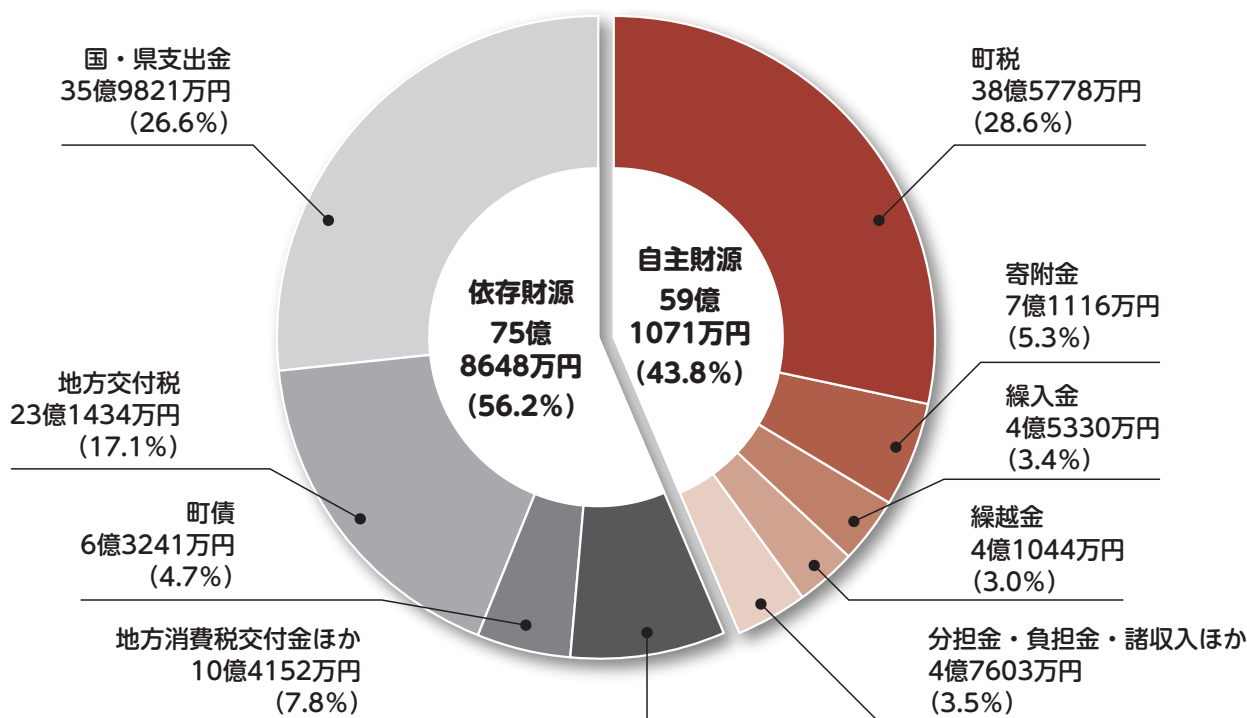
などを審議しました。審議した結果すべての議案を原案のとおり認定・可決・同意しました。

入ってきたお金

一般会計
1歳

134億9719万円

【金額は1万円未満四捨五入】



用語説明

歳入

- 自主財源**
町がみなさんから集めたお金
- 依存財源**
国や県からもらえるお金
- 繰入金**
町の基金（貯金）から取り崩して使うお金
- 分担金・負担金**
保育料など、特定のサービスを受ける方からもらうお金

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比11・9%減の約134億9719万円となりました。

自主財源は、約59億1071万円で前年度に比べ約8228万円減少しています。

町税は、わずかに増加し財政調整基金等の繰入金は約7858万円減少となりました。

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比11・9%減の約134億9719万円となりました。

自主財源は、約59億1071万円です。前年度に比べて約17億4388万円減少しています。

令和2年度に実施された特別定額給付金給付事業費補助金の約27億円が減少しましたが、地方交付税は約3億円増加しています。

歳入

となりました。

令和3年度
決算審査

ワクチン接種

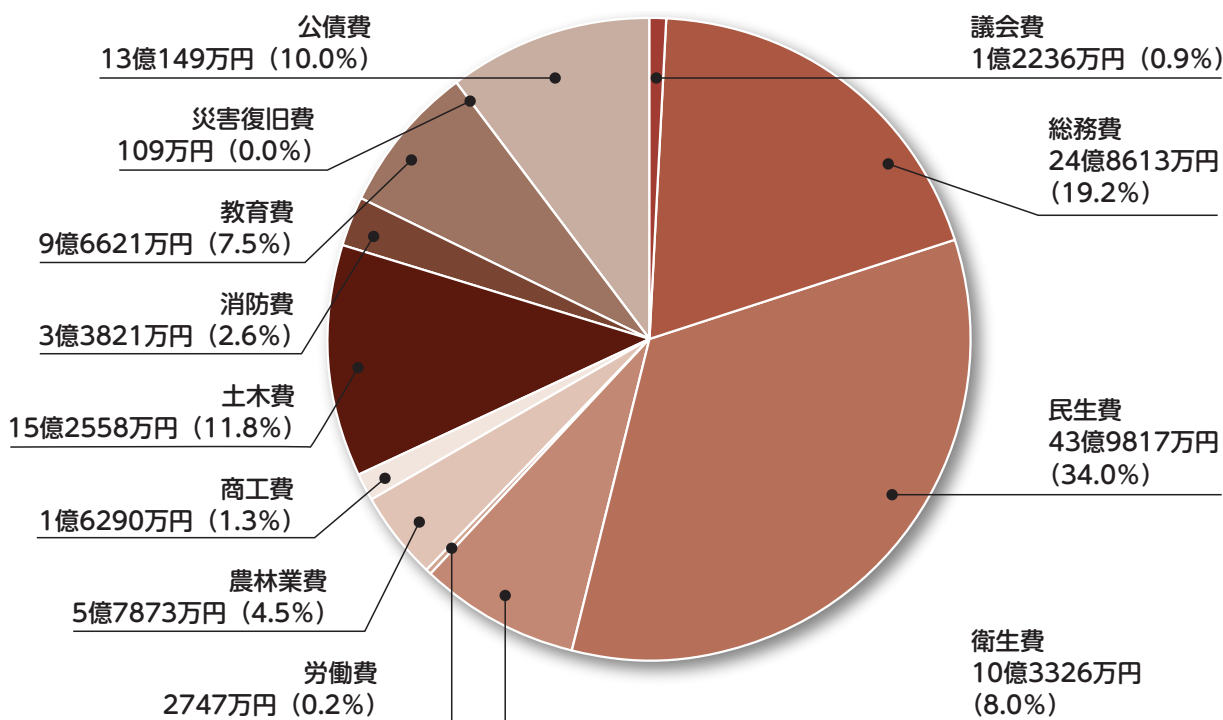
定例会9月会議は9月2日から21日までの20日間行われ、令和3年度決算を中心に補正予算

使ったお金

一般会計
1歳

129億4160万円

【金額は1万円未満四捨五入】



特別会計・企業会計については4～5ページのとおりです

用語説明

歳出

- 総務費**
庁舎、財産等の維持管理等の経費、ふるさと納税返礼品
- 民生費**
児童手当や高齢者、障がい者など、福祉のための経費
- 商工費**
個人事業者、中小企業への利子補給金など
- 公債費**
町が借りたお金の返済金

一般会計の歳出は、前年度比13.2%減の約129億4160万円となりました。

総務費は前年度に比べ約22億7132万円の減となりました。主に特別定額給付金が約27億円減少したことによります。

民生費は住民税非課税世帯等や子育て世帯への臨時特別給付金が支出されています。

衛生費は新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種や検査キット費用に支出されています。

教育費は史跡徳丹城跡整備事業で増加した一方、小中学校のタブレット端末整備が完了したため減少しました。

土木費は白沢踏切拡幅工事等の防災安全対策に支出されています。除雪事業は前年度に比べ減少しました。

歳出

特別会計 地域包括支援センター 運営費分が一般会計へ

[金額は1万円未満四捨五入]

国民健康保険事業特別会計

歳入 25億2303万円
前年度比 5.1%増 ↑

歳出 24億9007万円
前年度比 5.6%増 ↑

歳出は医療給付費などに使われました。前年度に比べ被保険者数は減少しましたが、給付費は増加しています。

被保険者(4,829人)
1人当たりの歳出



51万5648円

介護保険事業特別会計

歳入 24億8604万円
前年度比 1.7%増 ↑

歳出 22億9945万円
前年度比 0.3%減 ↓

歳出は65歳以上の介護サービス給付費や介護予防に使われました。地域包括支援センター運営費分が一般会計に変更され減少しましたが、給付費は増加傾向です。

第1号被保険者(7,361人)
1人当たりの歳出



31万2382円

後期高齢者医療特別会計

歳入 2億3224万円
前年度比 3.1%増 ↑

歳出 2億2877万円
前年度比 2.6%増 ↑

歳出の約2億円は保険給付事業を行う岩手県後期高齢者医療広域連合への納付金で、年々増加傾向です。納付金は主に75歳以上の方の医療給付費などに使われます。

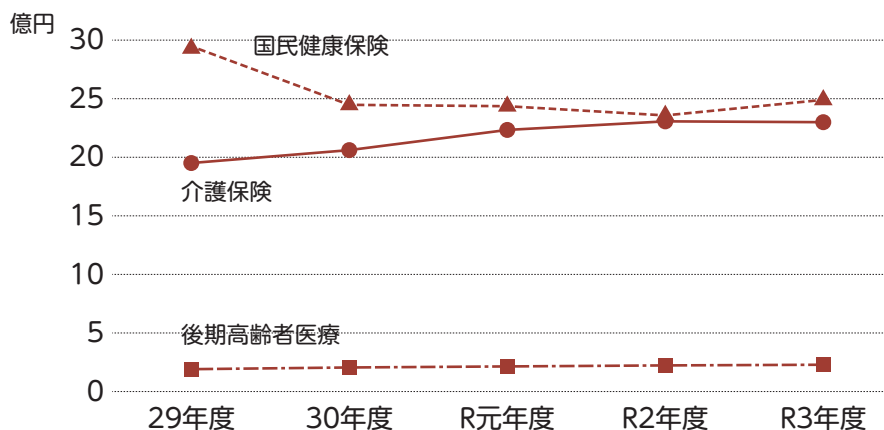
被保険者(3,487人)
1人当たりの歳出



6万5607円

※1人あたりの金額は令和4年3月末の人数から算出しました。

特別会計決算額（歳出）の推移



令和3年度
決算審査

企業会計

安心安全な供給継続を

【金額は1万円未満四捨五入】

企業会計		収入	支出	収入支出差引額
水道事業会計	収益的	9億1288万円	6億3043万円	2億8245万円
	資本的	2415万円	5億9838万円	▲5億7423万円
下水道事業会計	収益的	12億3597万円	10億2855万円	2億742万円
	資本的	3億2814万円	7億3423万円	▲4億609万円

用語説明

●収益的収入および支出

水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や収支

●資本的収入および支出

施設の新設や再整備に使用するための収入や収支

●実質収支

収入と支出の実質的な差

●有収率

供給水量に対する使用水量の割合

●不明水

下水道管の壊れたところから入ってくる地下水や雨水など

水道事業、下水道事業の資本的収支で不足する額は、減価償却などの現金の支出を伴わない損益勘定留保資金等で補てんしているんじゃないゾー。



じゃじゃっとくん
(水道やはばキャラクター)

監査意見

持続可能な行財政運営を

令和3年度決算の一般会計と3特別会計の実質収支額は、約7億3279万円となっており、健全化判断比率は早期健全化基準を下回っている。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けるさなかであったが、町税等においては高い徴収率を維持している。

また、ふるさと納税も増加傾向にある。

水道事業会計と下水道事業会計は、いずれも純利益を計上しており、経費の削減及び事業の効率化を図り健全な事業運営が行われていた。

原油価格の高騰、コロナ対策に必要な財政需要の増加により、まだまだ厳しい財政状況が見込まれる。

佐々木良隆 委員
長谷川和男 委員

今後、町債発行規模の適正化、投資的経費及び公債費の平準化を図るとともに、自主財源の確保と経常経費の削減に努め、中長期的な財政見通しの下で創意工夫し、町民の期待に応え持続可能な行政運営を推進されるよう期待する。



監査報告を説明する佐々木代表監査委員

令和3年度

決算を徹底検証

議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（廣田清実委員長）で審議しました。

一般会計

財政

質問 法人町民税が前年比で増加している。コロナ禍の影響がなかったのか。

回答 落ち込むと予想していたが、令和2年度とほぼ変わらない内容で影響はなかったものと考える。

質問 ふるさと納税額が約7億円で目標を上回っている。経費が半額を占めているが、人件費を含んだものか。

回答 職員の人件費は含まれない。返礼品やポータルサイト運営費、送料などである。

総務

質問 マイナンバーカード支援窓口の設置は2月までとしているが、その後の考えは。

回答 マイナポイントの支援もあり、2月まで設置する。国が延長した場合は、町でも支援体制を考えたい。

質問 エアコン設置がされていない自治公民館については、費用も含め相談のうえ設置すべきでは。

回答 エアコン設置を必要ないと回答した自治会もあったが、再度確認して設置を含め検討したい。



マイナンバーカード申請中
(役場1階ホール)

防災

質問 防災ラジオで、クマの出没状況などのお知らせができないか。

回答 現在の運営システムでは難しい。町民へお知らせする方法として、消防車や町広報車を活用していきたい。

質問 防災マップ更新は、いつ頃か。また各自防災組織の危険箇所や避難経路を記入できるものであるか。



現在の防災マップ
(令和5年1月更新予定)

回答 防災マップを1月ころ更新予定で取り組んでいる。地域でも避難経路など盛り込む内容の防災マップ作成に努めたい。

質問 河川の浚渫で今後の計画は、どうなっているか。

回答 県管理河川については県で対応。

町管理河川の逆堰は5カ年計画で浚渫を実施しており、その他四分の一などの河川は今後計画する。

産業・建設

質問 特産品事業の取り組み状況は。

回答 矢巾町産山ぶどうと矢次のさんちゃん味噌を使ったパン2種類が商品化された。今年10月には山ぶどう関連の商品化が進められている。

質問 ふるさと納税で米の返礼件数と金額は。

回答 全体で544件、104万6千円である。

質問 令和3年度の移動スーパーによる生活支援状況と今後の販売方針は。

町長 公民館等19カ所、施設2カ所、個人宅7カ所で販売し昨年と同じ利用状況。今後は希望する個人宅も含めJASシンセラと福祉的活用も視野に入れ進めたい。

質問 町営キャンプ場の利用状況と利用者からの意見などはないか。また、冬期間の利用も検討しては。

回答 利用者数は年々増えている。役場に来て申請するのが不便、ネット予約に、という声がある。冬期間は水道の凍結等、課題を検討する。

質問 駅西口駐車場の稼働率状況は。

町長 95%で月極め67台分は、ほとんど毎月埋まっている。

質問 岩崎川さつき公園の今後の整備は。

回答 岩手県との協定で土地所有は県、管理が矢巾町に委託されている。公園の活用方法は現在検討中である。

質問 河川は行政区が草刈りをしているが、危険箇所がある。今後はどうするか。

回答 河川の堤防部分で手の届く範囲での作業を依頼している。今後は行政区、県と協議して進めたい。

質問 インターシップの補助金内容は。

回答 大学生を対象に町内企業を通し、交通費や宿泊費として上限2万円を支援。

質問 町営住宅の建て替えは、今の場所に建て替える場合、入居者は2回の引っ越しが伴い負担がかかる。また、南公園も町有地であり選択肢としては。

回答 町営住宅の建設場所は検討中である。市街化調整区域への建設は、国の補助金の対象外である。引っ越しについては入居者との話し合いを進める。南公園は調整池の役割がなくなったが、狭いため候補地には考えていない。

質問 町職員が除雪出勤しているが、対応状況は。昼夜除雪で業務に支障が出ないか。

回答 職員9名と委託業者32社が対応している。夜間作業後に通常業務もあり、改善に努める。

質問 生活道路の整備がなかなか進まないが、要望されている道路で完了済とは、どのような状態のことか。

回答 現道舗装や拡幅改良工事がすべて完了した状態のことである。



稼働率が高い駅西口駐車場



さつき公園（岩崎川下流防災ステーション）

環境

質問 事業系ごみが前年比で増えている理由と対策は。

回答 コロナ禍で増えたことも一要因と思われる。

事業系ごみの減量は資源化の啓発に取り組んでいきたい。

質問 火葬場使用料のその他内容と、そのお骨の扱いは。

回答 内容は身体の一部の火葬であり、お骨は家族にお渡ししている。

質問 町内Wi-Fiの普及率が低迷しているがその対策は。

回答 町内のWi-Fiアンテナは66カ所あり、人口カバー率は77%である。

予算上これ以上の拡張は難しい。

福祉

質問 補装具支給費の内容は。

回答 補装具には義肢、義手、車椅子などがある。

新規購入29件、修理27件に対応している。



シルバー人材センターによる植木剪定作業

質問 産後家事支援事業と産後ケア事業の支援内容および実績は。

回答 家事支援は、産後の体調回復が目的の支援で3名が利用した。

ケア事業は、母親の休息を目的にホテル等で乳児の世話などを支援し2組が利用した。

質問 成年後見人制度利用促進審議会委員の役割や構成は。

回答 弁護士、司法書士などのほか県職員、一般の方を含め10名で委員会を構成。

計画に基づいた進捗確認や社会情勢等状況に合わせ、年2回の意見交換を実施。

質問 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の内容は。

回答 引きこもり等支援の届いていない人に、関係機関と連携し訪問などを通し、きめ細かい対応を支援する事業。

質問 シルバー人材センターの登録者数は。コロナ禍での仕事の影響は。

回答 令和3年度末で221名、令和4年9月末で202名で会員登録者数は年々減っている。

仕事の実績は、令和2年度

994件、令和3年度852件とコロナ禍で仕事の依頼が減っている。

質問 精神保健事業の健康評価システムの内容と活用方法は何か。

回答 令和3年度から導入した事業で、自殺対策予防を目的としている。

パソコンやスマホでホームページから項目を入力、心の健康状態をチェックできるシステムである。



自殺予防週間のポスター（厚生労働省ホームページ）

教育・文化



冬季間のスクールバス乗車風景

している。

スクールバスは安全対応を確認し、指導喚起を行う。

質問 他県で園児がバスに置き去りにされ死亡する事故が発生したが、当町での園児送迎バスやスクールバス等の安全対策はどうか。

回答 バスを所有している保育施設は2施設あり、昨年発生した事故の後、園ではマニュアルを作成し対策を強化

質問 全国で小中学校の整備点検が実施され不備が発覚したが、本町の実態は。

回答 不備等はなかったが、老朽化している施設もあり、長寿命化計画に基づき適切な修繕や安全管理に努める。

企業会計

質問 3地区の宅地化により人口が増加予定であるが給水量は足りるのか。

回答 令和3年度の施設利用率は7割程度であり1000世帯増加しても、8割を超えないと見込んでいる。

質問 令和3年度の経常収支比率の状況は。

回答 管路の修繕費増加によ

り、令和2年度と比較して下がっている。

質問 下水道管のカメラ検査の実施距離は。また、マンホール鉄蓋交換の状況は。

回答 令和3年度は更新計画策定のため検査はしなかった。今年度は7棟を予定している。鉄蓋交換は、令和3年度から令和8年度までに460枚を計画しているが、令和3年度は268枚を交換した。

介護保険会計

質問 認知症施策総合支援事業を増額しているが、委託による効果は。

回答 認知症相談件数が前年より70件ほど増加した。理由は受け皿が整備されたことと、地域支援推進員の増員もあり、相談業務やボランティア活動が拡大したことがある。

現在の認知症サポーター数は7740人である。

後期高齢者医療会計

質問 後期高齢者健診の受診者数と全体数に対する割合や推移は。

回答 令和3年度は対象者が3327名のうち541名、16.3%、令和2年度は23.9%受診している。減少した理由はコロナ禍等が要因と思われる。



町のマンホール蓋（やまゆりとカッコウ）

審査報告

予算決算常任委員会 委員長 廣田 清美

18項目の意見を付し可決

次のとおり附帯決議を付して議長に報告しました。(内容は要約)

- 歳入については、自主財源比率を高めるように。
- 重要な財源であるふるさと納税の取り組み強化を。
- 歳出は事業の見直しを図り、実効性のある適切な支出を。
- 地方創生臨時交付金の使途は慎重に検討を。
- SDGsの基本理念である『誰一人取り残さない』ということを念頭に推進を。
- 防災ラジオの番組を精査し、普及拡大を。
- バス運行は、町民ニーズを再把握し利便性向上を。
- 自治公民館のエアコン未設置箇所は早期導入を。
- ゼロごみ6R運動を推進し、事業系ごみの削減を。
- 野生鳥獣による農畜産物被害防止を図り、住民の安全対策を。
- 食糧安全保障と食糧自給率向上のため、農業者に継続支援を。
- 企業誘致や移住・定住対策に積極的な取り組みを。
- 通学路と生活道路の環境整備に努め、標識や信号機等設置の働きかけを。
- スクールバスと通園バスの乗降等の確認を含めた安全確保を。
- 災害対策として町民に防災マップに示された危険箇所を周知し、避難訓練の実施を。
- 学校給食は、保護者の負担増とならない対策を。
- がん検診や特定健診のさらなる受診率向上を。
- 水道管の耐震化及び下水道の不明水対策を進め、安定した上下水道事業の推進を。



表決に付される前に、令和3年度決算に対し、5人の議員から、反対と賛成の意見がありました。

反対 **民主的な町政運営を**
 循環型バスは利用者が少なく、県交通と運行ルートが重複しているため廃止し、予約型乗合バスが町民の足となるよう調査・研究を進めること。
 スーパーシティ型国家戦略特区への再応募を見送ったが、町民への説明が一度もなされず民主的な町政運営とは言えないことから反対する。
 小川 文子

賛成 **町民目線の行政運営を評価**
 母子健康手帳アプリで様々な情報の受信や、予防接種スケジュールの管理、胎児・子どもの成長記録のグラフ化が可能となり、子育て支援の強化が図られた。
 また、スクールバスは利用者の要望を取り入れ利用しやすい運行に努める等、町民目線の行政運営を高く評価する。
 村松 信一

反対 **水道料金の軽減を**
 PFIは自治体民営化と財政の硬直化を招き、住民サービス軽視や負担増になることから導入すべきではない。
 水道事業会計は、6年ほど経常収支比率と経常利益率が安定し良好経営となっており、コロナ禍や物価高騰が続くことから基本料金の引き下げや減免を考慮するべきである。
 川村 よし子

賛成 **附帯事項を行政運営に**
 各種税の収納率が高水準で町民の健康づくりの推進、コロナワクチン接種の取り組み、やはばーくを中心とした町の賑わい創出・魅力発信などを評価する。
 予約型乗合バスの運行改善を含めた附帯意見の18項目を認識され、行政運営を行うことを期待し、賛成とする。
 赤丸 秀雄

反対 **町民の声にこたえる町政運営を**
 コロナ禍において、実効性の乏しい不要不急の予算の弊害を感じる。
 また、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」に真剣に向き合った町政運営となっているか疑問である。
 一人ひとりの声に耳を傾けた町政運営にあたる必要があることから、認定に反対する。
 昆 秀一

ワクチン接種を継続

7月19日に7月会議を、8月10日に8月会議を開催し、主に物価高騰対策や検診受診率向上対策等の一般会計補正予算を可決しました。また、9月2日から9月21日までの20日間で開催された9月会議では、人事案件に同意したほか条例改正や補正予算などを慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

7月会議

補正予算

主な歳入

- ▽新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 9753万円
- ▽いわて子育て世帯臨時特別 支援金給付事業費補助金 5400万円

主な歳出

- ▽非課税世帯に対する 物価高騰対策給付費 3000万円
- ▽肥料高騰に係る 農家緊急支援事業給付金 800万円
- ▽市街地循環バス 車両更新負担金 1500万円

物価高騰で農家支援は

質問 肥料価格の高騰に対する農業者支援が少ないのでは。

回答 農業法人は10万円、認定農業者は3万円を他の支援策と組み合わせ支援したい。

循環バスの購入内容は

質問 循環バスの故障による車両更新の内容とリースの考えは。

回答 中古車両のリースが難しいため購入を予定。

審査報告

予算決算常任委員会 臨時交付金は積極的な町独自の農業支援も展開されたい。

8月会議

補正予算

主な歳出

- ▽大腸がん検診 受診率向上事業委託料 204万円

検診受診率向上委託とは

質問 大腸がん検診受診率向上のための委託の内容は。

回答 やはばーくやスーパリーなどに検診案内人を配置し、申し込みや受診等を勧める。

9月会議

条例

矢巾町民総合体育館 条例一部改正

町民総合体育館の使用について、令和5年4月から冷房料として実費分を徴収します。

冷房料子ども利用減免は

質問 冷房料金はいくらか。子どもの利用に免除の考えは。

回答 1時間当たり240円。学校行事やスポーツ少年団などの施設利用料は免除しており、冷房料は相応分の負担をいただく。

人事

教育長ほか4件に同意

教育長 任期は3年間



菊池 広親 さん (南矢幅2区)新

教育委員 任期は4年間
掛川 はるな さん (再任・矢巾2区)



熊谷 和浩 さん (西徳田1区)新

吉田 芳英 さん (再任・南矢幅2区)

固定資産評価審査委員

佐々木 隆 さん (再任・南煙山)

任期は3年間

補正予算

主な歳入

- ▽新型コロナウイルス
ワクチン接種対策費負担金
3304万円

主な歳出

- ▽地域おこし協力隊
業務委託料
938万円
- ▽放課後児童支援員等処遇
改善臨時特例事業補助金
138万円
- ▽矢巾斎苑維持管理事業
工事請負費
275万円
- ▽防災安全対策工事請負費
▲5782万円
- ▽福祉施設医療施設等
物価高騰等対策支援給付金
695万円

反対討論

物価高騰等対策支援給付金が訪問系福祉施設には対象とならないことから反対する。

昆 秀一

地域おこし協力隊の内容は

質問 協力隊の業務内容は。

回答 3名を予定。うち1名は農業で活動、1名は内容が未定で9月から予定している。

工事請負費の内容は

質問 矢巾斎苑の工事内容は

回答 黒煙対策で煙突を修理。

質問 防災安全対策工事請負費の減額理由は。

回答 国の内示で町道田中縦道線、島線の予算を減額調整。

児童館職員の処遇改善とは

質問 放課後児童支援員等処遇改善補助金の内容は。

回答 児童館とキッズクラブ19名の賃金を改善する。



みなさんからの請願

▽加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める請願
請願者
全日本年金者組合岩手県本部
執行委員長 鈴木 壬午郎
紹介議員
小川文子・吉田喜博

採択 審査意見

高度・重度難聴には購入補助があるが、低所得高齢者の経済的負担が大きいため、全国統一の公的支援制度創設を望み採択すべきとした。

▽沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を基地建設の埋め立てに使用しないことを求める請願
請願者
矢巾九条の会
共同代表世話人 伊東 宗行
佐藤 征克
紹介議員
廣田光男・山崎道夫

採択 審査意見

戦没者の遺骨を含む可能性のある地域の土砂を採掘することは、人道的にも疑問が残る行為である。
埋め立て等に使用するには、細心の配慮が求められることから採択すべきとした。

▽えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願
請願者
日本国民救援会盛岡支部
支部長 佐々木 茂喜
紹介議員
谷上知子・川村よし子

反対9・賛成7 不採択 審査意見

本請願は極めて高度かつ専門性の高い手続きの改正に関する内容であり、国で議論されるのが適切であると考へ不採択とした。

賛成討論

本請願の趣旨はもともとであり、採択に賛成する。
昆 秀一

▽景気回復のため、消費税率を5%に引き下げること
を求める請願
請願者
岩手県商工団体連合会
会長 関沢 淨
紹介議員
川村よし子

反対11・賛成5 不採択 審査意見

少子高齢化が進み、財源確保、社会保障制度を次世代に引き継ぎ、全世代型に転換する事が急務で現時点では妥当ではないと考へ不採択とした。

大事な税金に対しアクションの必要があり請願に賛成。
昆 秀一

弱者に負担がかかることから請願に賛成する。
川村よし子

各議案の採決状況

令和4年7月会議

議案番号	提出議案	議員名	藤原	吉田	小笠原	谷上	村松	廣田	高橋	水本	赤丸	昆	藤原	長谷川	川村	小川	山崎	廣田	高橋	採決結果	
			悦	博	佳	知	信	清	安	淳	秀	秀	梅	和	よし	文	道	光	七		郎
第41号	令和4年度一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和4年8月会議

第42号	令和4年度一般会計補正予算（第4号）		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可
------	--------------------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

令和4年9月会議

諮問 第2号	人権擁護委員の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
諮問 第3号	人権擁護委員の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第43号	固定資産評価審査委員会の委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第44号	矢巾町民総合体育館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	可
第45号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第46号	権利の放棄		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第47号	令和4年度一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第48号	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第49号	令和4年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第50号	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第51号	令和4年度水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第52号	令和4年度下水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第53号	令和3年度一般会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	認
第54号	令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	認
第55号	令和3年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	認
第56号	令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	認
第57号	令和3年度水道事業会計決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	認
第58号	令和3年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第59号	令和3年度下水道事業会計決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	認
第60号	令和3年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第61号	教育委員会の教育長の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第62号	教育委員会の委員の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第63号	令和4年度一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第64号	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案 第9号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案 第10号	沖縄戦戦没者の遺骨を含む地域の土砂を基地建設の埋め立てに使用しないことを求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 同=同意 認=認定

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。



町総合体育館前のやまゆり



一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来の方針など諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

9月会議では議員11人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員が自ら原稿を書いたものです。

●廣田 光男 議員 …………… P 15

- ①財政の運営について
- ②町民の行政参加について

●赤丸 秀雄 議員 …………… P 16

- ①町内移動交通手段の利便性向上について
- ②ふるさと納税の更なる取り組み強化について

●村松 信一 議員 …………… P 17

- ①令和4年度計画の事務事業の取り組み状況について
- ②令和5年度当初予算編成の基本的考えは

●昆 秀一 議員 …………… P 18

- ①行財政経営の効率化と計画の推進
- ②福祉施策の充実

●藤原 信悦 議員 …………… P 19

- ①国指定史跡徳丹城跡の整備について
- ②全国学力テスト結果からみえる本町の課題と今後について
- ③農業における担い手不足解決に向けた取り組みについて

●小笠原 佳子 議員 …………… P 20

- ①地域猫活動について
- ②骨髄移植ドナーへの支援について
- ③ひきこもりの実態調査と相談支援について

●山崎 道夫 議員 …………… P 21

- ①集落営農組織等への支援体制強化について
- ②盛岡南道路建設に関わる生活道路や農道、通学路等の確保対策について
- ③公立小中学校教職員の働き方改革について

●谷上 知子 議員 …………… P 22

- ①シビックプライドの醸成について
- ②安心安全な町づくりについて
- ③農業従事者の育成と女子の就農について
- ④高齢者世帯へのエアコン支援について

●藤原 梅昭 議員 …………… P 23

- ①「食料安全保障」への環境整備について
- ②「災害に強い」まちづくりについて

●川村 よし子 議員 …………… P 24

- ①子どもの給食について
- ②ごみ資源化拡大と県央ブロック広域化計画
- ③学童から高齢者にわたる各種検診について

●小川 文子 議員 …………… P 25

- ①新型コロナウイルス感染対策について
- ②物価高騰等経済対策について

※上記は、事前に提出された通告書の項目です。
次ページからの内容は紙面の都合上、一部要約して掲載しています。
詳しくは、議会事務局まで ☎019-611-2801

積極的歳入の確保を 健全な財政運営を維持



ひろたみつお
廣田 光男 議員
(一心会)

質問 町の財政は、借金である町債の支払いが多く将来負担率が高いことが危惧される。令和2年度は125%と県内ワーストワンとなっているが今後の改善策は。

町長 公債費が膨らんだ理由は矢幅駅周辺の区画整理事業、矢巾スマートインターチェンジ整備関連等、将来の先行投資として公共事業を導入したことがその理由である。

今後、大型の公共事業を慎重に検討するとともに、企業版ふるさと納税制度の活用で積極的な歳入の確保に努めていく。

質問 将来負担比率は。
町長 公債費と同様の理由に



町民参加のまちづくりワークショップ（やはばーく）

より、令和2年度は125・6%の県内ワーストワンとなっている。

令和3年度は97%と改善傾向にあり、徐々に改善していく見通しである。

質問 補助金が支出される団体数とその金額は。

町長 110事業で約4億6千万円の支出を行っている。

質問 補助費の全国的な類似団体との比較は。

町長 比較については、人口1人当たり15万4313円であり、全国比108%となっている。

有識者検討補助金の審査で一定の効果が出ている。この取り組みを継続することにより、団体への補助を通じて本町の利益につながるよう努める。

町民の行政参加 推進は

課題解決手段を検討

質問 各行政区ごとに個人住民税の2%約2400万円を用途を指定しないで、町民に任せる予算執行制度にしては。金は出すが口は出さない直接民主主義を導入し、その財源は町補助金の見直しにより効率化を図っては。

町長 町民活動を支援する制度は、他の先進事例をみながら地域コミュニティの醸成を図りつつ、今後検討を進めていく。

町民の創意工夫により、行政への参加意識や地域課題に対する関心を高める効果が期待できるものと考えている。

交通弱者等への移動確保を 交通網の利便性向上に努める



あか まる ひで お
赤丸 秀雄 議員
(一心会)

質問 免許証返納者を含めた自動車等を運転できない交通弱者が増えている。

病院、銀行、買い物などに不便を強いられているが、町はどのように捉えているか。

町長 全国的課題であり、町内に循環型市街地バスと予約型の乗合バスを運行している。県交通のバス営業所が町内にあり、盛岡方面へ運行しており、町民の声に対応する。

質問 予約型乗合バスを運行して4年となるが一向に利用数が伸びない。利用者ニーズに程遠い運行と思うが。

町長 アンケート調査や町民の声を聞いたものを集計中であり、何を改善すべきか把握



ふるさと納税返礼品のパーソナルトレーニング (fab Fitness & Bodymake)

する。またPR不足もあり、こまめな説明に努める。

5つの改善を

アンケート調査と

合わせ対応

質問 利便性向上に次の5つを提案するが、その考えは。

- ①乗降場所の見直しで利用者自宅前も可能に
 - ②日中帯に説明会を設定
 - ③料金見直しと
運行エリアの拡大
 - ④運行日と運行時間の拡大
 - ⑤受付専用電話の設置
- 町長** 町民要望と合せ検討を行い、改善できることから実施に向け取り組みたい。

ふるさと納税

拡大の取組は

返礼品に

アイデア創出

質問 ふるさと納税額が目標を上回り順調に推移しているが、どのような点を評価しているか。

町長 返礼品にパーソナルトレーニング、人間ドック、楽天トラベルを創出して330種としている。今後も返礼品の充実に努める。

基金化の考えは

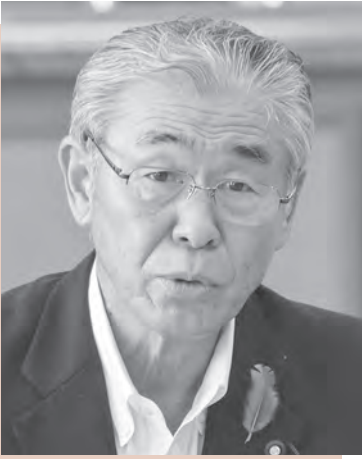
財政が厳しく困難

質問 当初の目標額を超えた分から経費を差し引いた額を基金化すべきと考えるが。

町長 財政が厳しい折、当面ふるさと納税の基金化は無理と考える。

基金としては財政調整基金に積み立てることを優先して行っている。

子育て支援の強化策は 母子健康手帳アプリの活用



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)



母子健康手帳アプリ「母子モ」

重層的介護は

関係機関と連携で

質問 介護人材不足・老老介護・介護と育児のダブルケア・8050問題・ヤングケアラー等、重層的支援の取り組みは。

町長 既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを生かしつつ、一体的な事業展開により関係機関と密接に連携し取り組んでいる。

資源リサイクルは

ゴミ減量に貢献

質問 環福連携の資源リサイクル拠点回収事業運営状況は。

町長 各集積所の資源ごみを施設で分別し資源回収業者へ引き渡し、2・2トンを減量。

寺子屋事業は

大切なことを学ぶ場

質問 寺子屋事業の実施で、期待される効果は。

町長 座禅により自分を振り返り、人々に感謝の気持ちを持つことの大切さなどを学ぶ良い機会と捉えている。

来年度の予算は

限られた財源を有効に

質問 来年度の予算編成の基本的考えは。

町長 限られた財源を有効活用し、次世代に向けた投資を効果的に行い見直す。

質問 母子健康手帳アプリで、評価の高い「母子モ」はどのように使用されているか。

町長 子育てに関する様々な情報や保健師からのアドバイス、パパ・ママ教室、在宅での子育てに役立つコンテンツの動画配信等環境の変化に合わせてサポートできる。

検診委託成果は 医療費削減と 健康寿命の延伸

質問 大腸がん検診率向上のため、企業の成果運動型民間委託による事業に取り組んでいるが、期待できる成果は。

町長 罹患の早期発見・早期治療による医療費の削減と健康寿命の延伸を期待。
社会的便益は1千万強と見込まれる。

行財政運営の成果は 業務見直しに取り組む



こん しょういち 議員
(一心会)

【質問】 町としてどのように行財政の効率化を図り、どのような目標を掲げ、各種課題に取り組んでいるか。

「効率的な行財政運営について、政策目標の実現を図るため臨機応変に事業のスクリップアンドビルドを行い、より効率的な施策の推進に努める」と、第7次総合計画後期基本計画にある。

町としてどのような効率的な行財政運営に取り組む、成果を上げているか。

【町長】 効率的な行財政経営のため、事務事業の質的な向上を図るべく評価活動などを実施している。

昨年度は財政健全化プロジェクト会議ですべての業務

見直しに取り組んできたところである。

行財政活動は広範囲かつ多岐に渡るので、基本的な行財政活動に着目して継続的に見直しを実施している。

計画策定に 若い世代の声を

アンケート調査で

取り入れる

【質問】 各種福祉関係の計画策定は、策定を担う委員に充て職は避けるべきであり、特に若い世代の声を生かしていくようにできないか。

【町長】 各種計画策定の際には通常、計画ごとに策定委員会を設けて取り組んでいる。

計画策定は、広く専門的な知見が必要であることから委員を選定しているが、一般町民の声を反映させるために公募も行っている。

さらに、町民の生の声をより取り入れるために、アンケート調査などを取り入れるよう努めてきている。

一般質問 町政を問う

【質問】 将来に備えて、今のうちに地域包括ケアシステムをしっかりと構築していくことは必須である。

町としては、地域包括ケアシステムの必要性和推進をどう図っているか。

【町長】 少子高齢化がより進むことに対応するため、健康長

寿を延伸する事業などを展開し、町民がいつまでも健康で自分らしい生活を送ることができる町を目指す所存である。そのためには、地域包括ケアシステムをしっかりと構築することが必要であると考えている。



地域包括ケアのしくみ
(花王プロフェッショナル・サービス ホームページより)

復元等の整備で理解を 歴史と自然を感じる場に



ふじわら しんえつ
藤原 信悦 議員
(町民の会)



史跡志波城の城柵 (盛岡市)

町長 来訪者が安全に史跡内を散策できるように整備する。

全国学力テスト

傾向と課題は

論理的思考力を育成

質問 本町の結果は、全国や県と比べてどのような傾向か。

教育長 小・中学校とも国語・理科は全国・県を上回り、算

数は全国・県とほぼ同じ。

数学は全国平均より3・4ポイント下回り、この傾向は全国学力テスト開始以来続いている。

質問 全国平均を下回る算数・数学の取り組みは。

教育長 町教育研究所の「観点別到達度学力調査」結果から正答率の低い問題を取り上げて指導。

また、教員の指導力の向上を図った。他に、小中一貫学力向上委員会を設け、学力向上に努めている。

農業担い手の

取り組みは

複業人材の活用で

質問 担い手不足解消のための取り組みと課題は。

町長 新規就農者に対し、関係機関で随時相談に応じ、定期的な訪問を行っている。

営農面積の拡大や天候等の経営リスクが課題となる。

質問 昭和40年、平成27年対比で町の就農人口は75・2%減で1227人。全就労者比では、67・3%から8・8%に減少している。

現時点では集落営農組織等の機能は維持されているとのことだが、就農人口推移を見れば、機能しなくなるのでは。
町長 複業人材機能をもつ仮称「やばば産業振興センター」を設立することにより、地域おこし協力隊のような複業人材を確保し、担い手不足対策にも対応したいと考える。

質問 史跡内は石柱、通路、

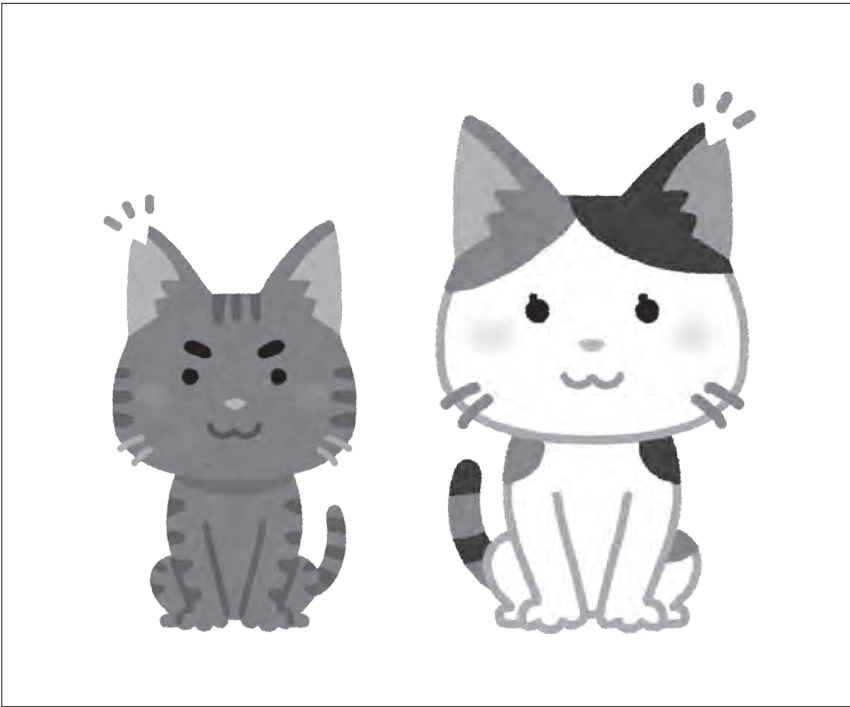
町長 胆沢城跡の復元を参考に、有識者の指導を仰ぎ可能性を検証する。

質問 徳丹城跡は平面表示で整備されているが、わかりにくい。復元等の考えはないか。

地域猫 取り組み推進は 飼養マナーの啓発を



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)



不妊・去勢手術済みのさくら耳（耳のV字カット）の猫

質問 殺処分ゼロを目指し、野良猫に不妊手術を施して見守り、一代限りの生を全うさせる地域猫の考えは。また、野良猫を繁殖させないよう不妊、去勢手術助成制度を新設する考えは。

町長 野良猫への餌付け等による問題の解決策に、日本動

物愛護協会（春秋・抽選）や岩手県獣医師会（募集期間は7月1日から9月30日）が行っている不妊手術助成事業を案内している。

新しい助成制度は予定していない。また、飼い主等の飼養マナーの啓発に努める。

骨髄移植ドナー 支援策は

休暇制度等の普及

質問 白血病等の治療に有効な骨髄移植ドナーのために、非血縁ドナー登録の推進が必要である。

そのための普及啓発とドナーには10日間ほどの入院を要することから、骨髄等移植ドナー助成金制度新設の考えはないか。

町長 周知については日本骨髄バンクのしおりを窓口設置し、今後町ホームページへも掲載する。

また、ドナー休暇制度の普及促進を図り、助成金制度の必要性について検討する。

ひきこもりの 相談支援は

関係機関と連携で

質問 ひきこもりは、全国で推計61万人とされている。社会への参加が狭まり、就労や就学が長期失われた状態にある。

当事者たちの多くは社会とつながりたい、自立したいと思っている。相談窓口があっても活用されず孤立されている家族がいるのでは。

当町における相談支援は、**町長** ひきこもりの要因は、個別の状況に応じて課題が複雑化している。

そのため、担当だけではなく関係機関が連携し横断的な支援を行っている。

本人の同意のない訪問事業では、家族との面談により助言や情報提供している。

また、相談窓口を幅広く周知し、早期の把握に努め支援につなげたい。

集落営農組織の支援強化を 国の促進事業を活用



やまざき みち お
山崎 道夫 議員
(一心会)

【質問】 本町の集落営農は21組織、農事組合法人は9組織であるが、両組織合わせた耕作面積はどのぐらいか。

また、本町全耕作面積の何%になるのか。

【町長】 耕作面積は1370畝で全面積の約51%である。

【質問】 各地域で集落営農組織が農地を共同で維持し、生産基盤を守っているが、法人化を念頭に置いた細やかな指導や支援体制を強化すべきではないか。

【町長】 国の集落営農活性化プロジェクト促進事業を活用し、集落営農組織がさまざまな経営課題を乗り越え、将来にわたり持続的に発展することが



集落営農組織の稲刈り（新田地区）

盛岡南道路の

建設要望集約は

意見交換等の場を

検討する

【質問】 盛岡南道路の建設に伴い生活道路や農道、通学路等の利便性が損なわれるようでは、大きな問題となる。

7・4キロ区間には多くの町道が交差している。現道の役割をできるだけ確保するため、関係する地元や学校関係者などと協議し、町の考えを示しながら、意見や要望を取りまとめるべきでは。

【町長】 地域コミュニティ、農業者および学校関係者などと意見交換を検討する。

【質問】 まとめた意見や要望を関係する機関へ伝え、設計等に活かすよう取り組むべきと考えるが。

【町長】 地域等からの意見や要望を検討してもらえよう、意見交換の開催時期も含め、国と協議していく。

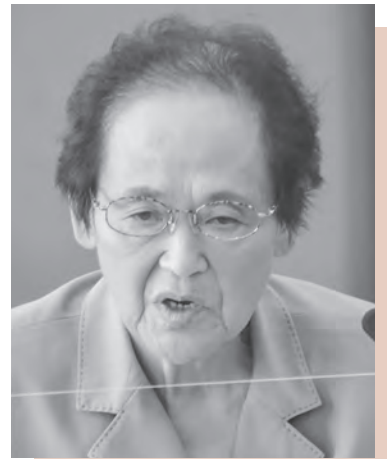
できるような総合的に支援していきたい。

【質問】 農業資材や肥料の高騰により、厳しい状況に置かれている農業者や集落営農組織・法人等に対して、さらなる支援を強く求めたいが。

【町長】 今後も厳しい状況が続くと見込まれることから、さらなる支援が必要であると考ええる。

国や県の動向を見ながら、引き続き町としての支援を検討し実施していきたい。

シビックプライドの醸成は 魅力発信と参加型の施策で



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(令和やはば)

質問 シビックプライド（町を誇りに思い愛着を持つ）の醸成について今後の展開は。

町長 町の魅力発信や住民参加型のイベントを企画する。矢巾町コミュニティ連合会と連携し、愛着を持てる事業を行い参加しやすい環境づくりを進める。

質問 宅地開発で増加が見込まれる世帯数と人口は。

町長 新たな3カ所の宅地開発では450世帯、1世帯3人として1300人が定住すると想定している。

質問 新住民が参加しやすい地域活動には、どのようなものがあるか。



信頼される紫波警察署矢巾交番

町長 町をきれいにする運動や花いっぱい運動、住民参加のワークショップを開催し住民主体の地域活性化の担い手事業を行っている。

質問 若手を主体とした町づくり研究会創設の考えは。

町長 町づくりに強い関心のある若者と、町を盛り上げたいと考える事業者をマッチングし「町づくり研究会」のような組織立ち上げの機運を高めることにつなげたい。

安心安全な町に 体制強化を要望

質問 防犯のため、矢巾交番警察官の増員とパトカー増車の考えは。

町長 情勢の変化等がある場合、紫波警察署を通じて岩手県警察本部に要望していく。

農業女子の育成は 経営参画の意識を

質問 食に関心の高い女子の就農について町の方針は。

農業委員会 女性の働きやすい環境の醸成など、経営参画の意識を高めたい。

高齢者世帯への エアコン支援は 国や県に要望

質問 気温上昇が予測されることから、高齢者世帯へのエアコン設置補助の考えは。

町長 補助制度等の創設について国や県に働きかける。



ふじわら うめあき
藤原 梅昭 議員
(一心会)

食料安全保障への環境整備は 農商工全体の産業振興センターを検討



朝採り野菜の無人販売所（藤沢地区）

質問 我が国の食料は、自給率38%とほとんどが輸入に頼っている。政府は輸入から国産への大転換の方針だが、当町の「食料安全保障」への環境整備は。

町長 「農業公社」的な役割を担った、農商工全体を考慮した「産業振興センター」の設置を検討する。

質問 当町は県都盛岡の隣接地として勤め人が多いが、人材確保としての「半農半X」への取り組みは。

町長 副業・兼業など多彩なライフスタイル実現のため、「半農半X」への取り組みを検討し、農業者と希望者のマッチングを図っていく。

質問 人的・物的被害が出ている有害鳥獣被害への対応状況は。

町長 その都度猟友会と連携を図りながら、罠設置等の対応を行っている。

西部の山沿いに約7線の電気柵を設置したが、完全に防ぐものではないので、草刈り等の環境整備も行う。南昌地区に電気柵を検討中。

質問 規格外農産物の有効利用に対する考えや、取り組み状況は。

町長 食する事が可能な農産物については、JA等関係団体と協議し、積極的に販売して農業者所得に繋がる対策を図っていく。

質問 地球温暖化への取組状況は

「ゼロカーボンシティ」
本年6月に表明

質問 地球温暖化に対し「気候非常事態宣言」後の対応と今後の計画は。

町長 環境基本条例において、2050年までの脱炭素社会の実現を目指す基本理念で「ゼロカーボンシティ」を本年6月29日に表明している。

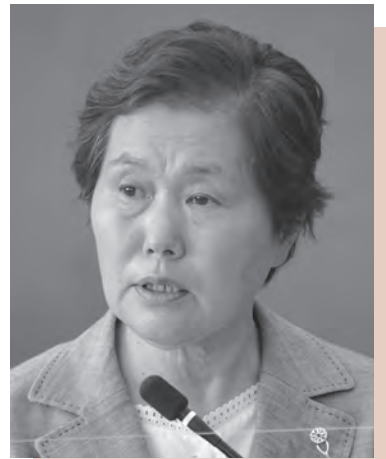
質問 「バイオマス発電」への取り組みは。

町長 目標は、令和12年度までに木質バイオマス発電等の施設を町内に立地したい。現在民間事業者1社が設置を検討している。

質問 防災士の育成状況と今後の計画の考えは。

町長 令和3年度末で90名の防災士を育成しており、本年度は約20名の新防災士育成を目標としている。

物価高騰による給食費抑制は 地方創生給付金で支援



かわむらこ
川村 よし子 議員
(日本共産党)

質問 物価高騰の影響で保護者負担が増えることから、値上げしない対策が必要では。来年度以降の考えは。

教育長 地方創生給付金で保育施設・給食センターに支援していく。

来年度は、保護者負担になる値上げをしないよう給付金を活用する。

質問 地産地消率の引き上げは地域の産業やつながりを学習する機会になるがどうか。

教育長 調理部門を民間に委託したが、食材の仕入れは町が関り、令和3年度の地産地消率は約54%である。

地産地消率を低下しないよう努めていく。

大型焼却場の建設は

令和14年度を想定

質問 県央ブロック広域ごみ大型焼却場の建設時期と住民説明の予定は。

町長 現在は令和14年度建設に向け取り組み中。準備段階として一部事務組合設立の発足は令和4年度を予定。その後スケジュールが決まる。

質問 町は住民と協力してごみの資源化に取り組んでいる。

1人当たりの資源化率と処理経費はどう推移しているか。

町長 コロナ禍で生活系ごみが増加傾向であるが、1人当たりの処理経費は減少。

小中学生の

視力検査状況は

半年後に経過観察

質問 小中学生の視力低下が言われている。視力検査後、



資源ごみの分別作業（盛岡・紫波地区環境施設組合）

医療機関受診状況と把握は。
教育長 令和3年度は視力低下が、前年比2%増加。

医療機関受診を呼びかけ、半年後に経過観察をしている。

質問 フレイルや認知症予防のため、聴力検査を行っては。

町長 要介護認定調査時には聴力検査が入っている。後期

高齢者健診では行っていないことから、今後検討したい。

質問 口は健康の源だが、歯科検診の必要性は。

町長 生活習慣病と歯周病および口腔と全身との関係から「8020運動」を推進し表彰も行って、治療の重要性を啓蒙している。

一般質問 町政を問う



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)

更なるコロナ感染対策は 抗原検査・ワクチン接種を

質問 コロナウイルスオミクロン株は第7波の爆発的な感染の広がりを見せている。

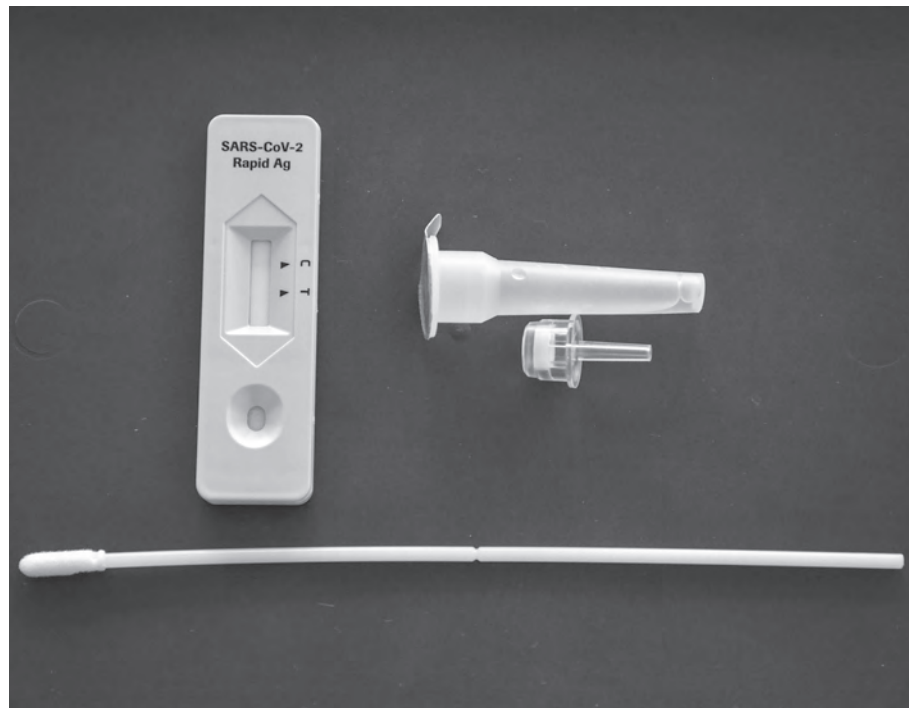
全国で初めて10歳未満の死亡が確認され、その数が17人を超えている。また、総死者数が1日に200人以上の日が続いている。

医療現場の状況は。

町長 町内6医療施設で発熱外来を実施しているが、混雑は見られるものの医療逼迫は生じていない。

質問 町のワクチン接種の状況は。

町長 1回と2回目は91・24%、3回目は75・94%、4回目は21・58%である。今後は、オミクロン株対応ワクチンも進める。



コロナ抗原検査キット

質問 子どもの感染等により職場を休む場合のパートやアルバイトへの支援は。

町長 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の制度があり、個人で直接国に申請できる。

物価高騰対策は

申請を受け

給付を開始

質問 物価高騰から暮らしや産業を守る継続した対策が必要だが、農業への支援策は。

町長 家畜の頭羽数により、乳用牛は1頭5千円、繁殖牛は4頭で5千円、豚、鶏へも支援する。畜産農家以外にも引き続き支援する。

質問 がんばる中小企業者応援事業補助金の取組み状況は。

町長 物価高騰給付金は10件申請がある。

がんばる中小企業者応援補助金については、新たな取り組みへの支援で問い合わせが来ている。

質問 町独自の無料検査所設置や、無料抗原検査キットを必要な家庭への配布ができないか。

町長 県が薬王堂など4店舗で無料の検査を実施しており、必要な人が適正に検査する観点から町として考えていない。

質問 保育・教育・福祉等各種施設職員の検査体制は。

町長・教育長 福祉施設職員

の定期検査は県が実施。児童福祉施設や小中学校では、定期検査とともに感染者が発生した場合は、随時実施している。

町民と町議会との懇談会

7月18日に町公民館で開催した懇談会には、15人の皆さまにご参加いただきました。



出席者からは次のような発言があり、議員と意見交換がなされました。今後議会でもこれらの発言を受け止め、より良いまちづくりのため議論を重ねてまいります。また、より多くの方に懇談会へ関心を持っていただけるよう、ご意見を次回の開催に生かしてまいります。

財政・税収と産業

質問 コロナ関連補正予算の財源は。

また、税収をどう増やすか。

回答 コロナ対策の事業は、大半が国と県からの交付金を財源としている。

税収を増やすには、企業誘致による働く場の確保や農業従事者の確保が必要と考える。

道路整備

質問 道路整備に係る町の予算を増額できないか。

回答 現状では、町の財源が厳しい。町税を増やすことが大きな課題であり、議論していきたい。

盛岡南道路は

質問 盛岡南道路の建設に関する開発について、どのようなになっているか。

回答 盛岡南道路は、事業認可を受けただけで詳細設計及び用地取得についてはこれからである。今後情報収集し、町民に発信していく。

子どもの相談窓口

質問 子どもたちが、いじめや不登校、悩みごとなど気軽に相談できる窓口があってもいいのではないか。

回答 心の相談などいろいろな相談窓口がある。窓口が分かるよう、町に提言していく。

その他の主な質問

- ひまわりパークやキャンプ場など西部地区観光の一体的な活用方法は。
- 上赤林地区は、高齢化による免許返納者もいる。生活圏が旧都南地区であり、デマンド交通が利用できないか。
- かつこうグラウンドの活用方法についての考えは。
- 水辺の里を子どもたちが遊べる場所にすべき。
- 南昌温泉の入り口の看板が見えにくい。
- 医大前の道路をロードコーズとして整備してどうか。
- 南昌山の5合目にトイレを設置してほしい。
- やはぱーくの予約は、町民が使いやすいよう町外の方より優先してほしい。
- 盛岡につながる道路を広くしてほしい。
- 各課に専門知識のある職員を配置してほしい。

アンケートで出された主な感想

- 出席が少なく残念でした。意見を述べた方々は、自分の思いをしっかりと話されていた。(70代以上)
- 行政区の代表は出席すべき。(60代)
- 丁寧な話で分かりやすく勉強になった。(30代)
- 議論の前提となる項目を示してほしい。(60代)
- 意見、考えを聞いて大変参考になった。(70代)
- 議員の説明が長く、もっと町民の意見を聞きたかった。(70代以上)



傍聴者を増やす工夫を



えんどう のぶよし
遠藤 信義さん
(南矢幅2区)

(写真撮影のためマスクを外していただきました)

2016年以來の傍聴でしたが、議会が一番変わったのは、議員がタブレットを利用しており、質疑応答の大まかな事がそれに現れていたことでした。ペーパーレスと言うことでしようが、画面でなく、答弁者の顔も見たい気持ちがありました。

題もないのか、町民の行政に対する関心がないのか、傍聴者が数人であり、あの時と同じ顔ぶれで、非常にがっかりでした。平日は傍聴が無理な方も多く、一般質問は休日に行うなど、傍聴者が増えるよう考えてほしいと思いました。一般質問では、女性議員ならではの町民が気になる身近な問題を取り上げていました。いずれ、もっと多くの町民の皆様に傍聴していただき、これからの矢巾町はどんな方向で運営されて行くのか、見てほしいと思いました。

所管事務視察研修報告

先進地から学ぶ

教育民生常任委員会は所管の課題解決を見出すため、岐阜県3市の先進地を視察研修してきました。

視察日：7月25日(月)～7月27日(水)

えんどう館の運営事業

岐阜県高山市
社会福祉協議会

研修目的・調査報告

平成20年から高齢者の安全・安心な暮らしの確保と、生きがいの創出を目指すことを目的に冬季12～3月間を食事の賄い付きで集団共同生活をを行い、特産品の寒干し大根の生産や販売で、経済活動への参加を促す事業である。

素晴らしい取り組みであったが、当町への導入は環境の違い及び施設整備等に課題があり、導入は厳しいと思う。

青少年の活動支援事業

岐阜県岐阜市
岐阜市教育委員会

研修目的・調査報告

この事業は5か年計画で取り組んでおり、子ども・若者生き生きプラン（未来を担う人づくり）を3つの施策の柱で展開していた。

特にSDGsの基本理念「だれ一人取り残さない」を基

本に子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備に力を注いでいた。

当町も関係組織と連携強化し、取り組む必要性を感じた。



研修模様（岐阜市）

まーまはつす事業の推進

岐阜県各務原市
NPO法人つむぎの森

研修目的・調査報告

不登校や引きこもり、困難を抱える家庭を地域と協働により、社会復帰の再生支援を実施し、成果を上げる活動である。『あるがままの自分を見つけると人は強くなる』『自分の得意が見つかる』と人は変わる』の理念がモットー。当町にも多くの支援活動組織があるが、自立支援を法人内で賄う仕組みが確立されることが現実である。

まちの人



工房で制作にいそむ筆者

金属造型家

役場ホールの
装飾照明をデザイン

ひろ せ まこと
廣瀬 慎 さん (高田1区)

岩手の自然が触発するデザイン

今でいうアイタンののはしり、南部鉄器の盛んなこの地に当時2歳の息子と私たちが移り住んで50年になる。その間家族も増え、当初はこれ程永く居るつもりではなかった。鉄との出会いは完成度の高い湯釜のデザインに魅了され、基本を学ぶため盛岡での修業が始まった。この時制作した「ひらめ皿」が、当時の通商産業大臣賞を受賞したことで、鉄との思いは深くなり確かなものへと変わっていった。独身時代の修業も終え、東京へ戻り鑄金家の馬場忠寛氏の下で造形の基本、デザインを学び、鉄とじっくり向き合うために再度盛岡に赴き、現在に至っている。

岩手は自然豊かで四季折々の景色が素晴らしい。厳しい冬には閉口するが雪解けの頃、福寿草を見つけた時は心揺さぶられる。この感動があるからこそアイデアも湧く。金属に関わって公共のモニュメントから壁面装飾、街路燈（盛岡駅、材木町、仙北の通り）、橋の高欄、ガードポール、生活の場で使われるキッチン、テーブルウェア等を制作。縁あって矢巾町庁舎、田園ホール、公民館、火葬場等の建設の際、デザイン制作の依頼があり、矢巾町との繋がりが深まっていった。矢巾にゆかりのある医師の鶴谷氏から江差（北海道）の病院建設でホールの壁面レリーフや照明を頼まれました。

弦楽教室では、チェロの第一期生として受講し、団長も引き受け、その時の仲間との交流は今も続いて楽しい思い出を残している。

仕事の量は減りましたが、生涯現役をモットーと心掛けています。最近、ドイツパン作りに挑戦。自作の鍋で作る料理とパンでの食卓は至福のひとつとなつている。

絵を教えていた矢巾の子どもたちが、今では立派にそれぞれの道で活躍している事にも喜びを感じている。

あ と が き

ロシアのウクライナ侵攻が始まり約10カ月。第7波コロナ感染流行も減少傾向にあります。4回目接種はお済でしょうか。

子供たちのコロナ感染症が広がり行事写真が少なく残念ですが、楽しみながら気軽に読んでいただけるよう工夫しました。

編集副委員長
川村 よし子

表紙に寄せて

10月2日、第22回矢巾町ロードレース大会が3年ぶりに開催されました。

晴天のなか家族での参加など、多くの方たちで賑わいました。



発行・編集責任者
議長 藤原 由巳

編集委員
委員長 水本 淳一
副委員長 川村よし子
委員 谷上 知子
高橋 安子
赤丸 秀雄



過去のやばば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます。

